



令和4年度決算をチェック!!

私たちの税金は、適正に使われているのか？

今後の財政、心配は？ Q=市民の会からの質問 A=市からの答弁

Q 市の貯金は？

A 「貯金」にあたる「3基金残高」は、119億円(財政基金等)。10年後は110億円程度の見込み。

Q 市の借金は？

A 「借金」にあたる市債残高は、1,129億円。本庁舎の建て替えに約123億円、新ごみ処理施設整備に約185億円、ピーク時で最大1,400億円の見込み。基金残高と市債の見通しを踏まえて、大きな支障はないと考えている。

Q 水道事業の収益的収支が厳しい中、明石川河川水からの水源転換など、多額の投資も控える。今後の財政は？

A 収益だけでは賄えないため、企業債の活用を再開。企業債は67億円。令和9年度は124億円の見込み。今後の戦略について、市民・学識経験者など様々な意見を取り入れながら丁寧な議論・検討を行う。

私たちは、こう考えます!

明石市立市民病院の建て替え、明石港東外港地区整備など、計画されていないけど期待されている事業がたくさんある。



古くなった施設の修繕や統廃合が必要。



水道事業の経営が厳しい中、水道水の明石川河川水からの水源転換や老朽化対策が必要。

財政計画や公共施設の計画を市民の皆さんに公開し、議論・検討を重ねた上で、優先順位をつけた意思決定を行っていく必要がある!!



その他、私たちが意見したこと

- より迅速かつきめ細やかな犯罪被害者等支援事業を!
- ふるさと納税事業は、コスト適正化・サービス向上を!
- 「個別学び支援システム」を不登校生徒にも活用を!
- 部活動指導員の人材バンク登録者数増の取組を!
- 一人暮らし高齢者の見守り方法の改善を!
- 待機児童解消に向けた施設整備を!
- コストを適正化した安全・安心な海岸づくりを!

市民からの請願について「市民の会の賛否」と「採決結果」

今回は、市民が行政に声を届ける手段である「請願」4件の賛否も問われました。

内容	採決結果	市民の会
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度を堅持するための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願	採択	○
小学校給食の無償を求める請願	不採択(反対多数)	○
健康保険証の存続を求める意見書提出の請願	不採択(反対多数)	○
明石市公設地方卸売市場の再整備に関する請願	採択	○

常任委員会について

各議員が専門のテーマごとに集中的に議論しました。

総務常任委員会(中川)

行政手続のオンライン化を推進するための条例一部改正に賛成。報告事項としての財政健全化推進計画、ふるさと納税実績、西明石地区活性化や大久保駅周辺市有地の利活用、新庁舎整備に向けた取組状況について、質問を行いました。

生活文化常任委員会(山中)

マイナンバーカードだけでなくスマートフォンにも電子証明書が記録できるようになる「明石市印鑑条例の一部改正」に賛成。「明石クリーンセンター焼却施設」について、次期受注者の選定に向けた債務負担行為を追加した議案に賛成しました。

文教厚生常任委員会(黒田・金尾)

市補正予算案の「障害福祉・介護サービス等事業者への支援」に賛成。請願では、「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度を堅持するための2024年度政府予算にかかる意見書採択の請願」と「小学校給食の無償化を求める請願」などに賛成しました。

建設企業常任委員会(山下・副委員長)

「魚住みんな公園」の無料お試し期間が終了し、料金を定める条例改定に賛成。県市一部補助による山陽電鉄「藤江駅」のバリアフリー化を進める議案にも賛成。令和17年度までに山陽電鉄市内全駅でバリアフリー化が完了する目処が立ちました。

あとがき

5月から会派の5人で活動をしてきました。試行錯誤の連続ですが、「市民のため」をモットーに、みんなで考え抜く日々。地域をはじめ、福祉施設や学校、保育園等を回りながら、「どうしたら明石のまちがさらにやさしくなるか?」に東奔西走。「誰一人取り残さないやさしいまち明石」を目指すため、まちの声、現場の声を確実に市政へ届けます。

市民の会

〒673-8686 兵庫県明石市中崎 1 丁目 5 番 1 号 明石市議会「市民の会」控室
Mail shiminakashi@gmail.com

明石市議会

市民の会だより

秋号
令和5年

発行 明石市議会 市民の会 〒673-8686 兵庫県明石市中崎 1 丁目 5 番 1 号 明石市議会「市民の会」控室
Mail shiminakashi@gmail.com ※この市政だよりは、明石市議会「市民の会」政務活動費によって発行されています

9月議会・令和4年度決算審査を行いました

6月議会で質問・提案したことを、一歩でも前へ! 市民が納めた税金は、市民のために!

この9月議会では、一般質問ならびに令和4年度の決算審査が行われました。一般質問では、6月に続き5名全員が一般質問を行い、さまざまな視点から市政について議論。また今回は、令和4年度の決算が出揃った重要なタイミング。「予算が適正に執行され、成果を上げたか」、「今後どのような改善・工夫がなされるべきか」を審査しました。大事にしたのは、「市民目線」。私たちが、やさしい明石をこれからも続けていきます。



中川 夏望
なかがわ なつみ
総務常任委員会所属



山中 裕司
やまなか ゆうじ
生活文化常任委員会所属



黒田 智子
くろだ ともこ
文教厚生常任委員会所属



金尾 良信
かなお よしのぶ
文教厚生常任委員会所属

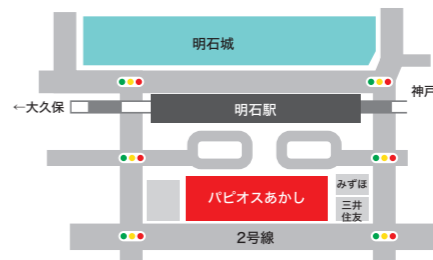


山下 祥
やました しょう
建設企業常任委員会所属
(副委員長)

市政報告会のお知らせ

「市民の会」は、市政のこと、議会のことを市民の皆さんにわかりやすくお伝えしていきます。
※子育てやお仕事忙しい方のために、オンライン配信もいたします。

11月18日(土)
18時~20時
パピオスあかし2階
あかし市民広場
JR明石駅南口すぐ
(明石市大明石町1丁目6-1)



※ご参加人数把握のため、ご協力をお願いします。
ご参加ご希望の方(オンライン配信のご希望も)は、QRコードを読みとり、開催2日前までに
ご登録をお願いいたします。
※ご登録なしでの当日参加もできますが、会場準備のため、できるだけ事前にご登録をいただけましたら幸いです。



9月本会議における「一般質問」(抜粋)

今回は、明石市議30名のうち27名が一般質問の場に。「質問」という形で、市の認識や考えを聞くこともあれば、新たな取組を提案することも。市民の会は、「誰もが気になる大きなテーマ」から「市長では気づけないような谷間のテーマ」まで、多様な視点から明石市政の「いま」そして「未来」について議論を重ねました。

議会トピック

6月議会にて、3,000円から2,000円へ減額となった市民全員サポート券(市民の会は減額に反対)。それに伴い、国からの交付金(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)の使い道を決める必要があり、原油価格・物価高騰等の影響を受ける**障害福祉・介護サービス施設や、保育・児童養護施設等への補助**を行う市の補正予算案が出され、全会一致で可決されました。

また令和4年度の決算では、**市税収入が447億669万円と過去最高**に。一般会計の実質収支は7億1,569万円と**47年連続の黒字**となりました。⇒裏面に特集



講師をお招きして会派独自の学習会



明石養護学校をはじめ、福祉施設や学校、保育園を訪問

中川 夏望

「決算について」「監査の実効性確保について」「子育て支援の拡充について」の3項目を質問。特に「子育て支援」については、限られた財源の中で子育て支援を発展させるために、今後も実現可能な質問を継続していきます。今回は以下3点に加え、令和6年度の保育園の待機児童0に向けた取り組みも質問しました。

●こどもの意見を政策に取り入れてはどうか

(要旨) タウンミーティングで若者会議や子ども会議が開かれ、希望にあふれた意見が多く提案された。このような若い意見を政策に取り入れてはどうか。

(答弁要旨) こどもや若者の声を取り入れる機会を積極的に設けることで、こどもたちの未来に繋がる施策を実施していきたいと考えている。



こども会議は心躍る提案多数!!

●こどもの意見を取り入れて、朝霧駅前を整備してはどうか

(要旨) 明石市の東の玄関口である朝霧駅。現在、駅前は殺風景な状態。こどもの声を取り入れて、明るく活気のある駅前を整備してはどうか。

(答弁要旨) こどもの豊かな発想や視点を持つことは重要。自治会を通じ、こども会や小中高生などの多様な年代の方の意見も取り入れて整備していきたい。



みんなの声で朝霧駅前の充実化を

●病児保育に予約システムを導入してはどうか

(要旨) 現在、明石市に2件ある病児保育は電話予約のみの受付。ピーク時には電話が殺到して繋がらないことも。予約システムを導入してはどうか。

(答弁要旨) 市も課題を認識している。利用枠拡大と利便性向上に向け、他自治体の導入事例や国の補助制度の動向も注視しながら検討していきたい。

山中 裕司

温暖化と高齢化が相まって、熱中症による65歳以上の救急搬送人員数は年々増加。本市における熱中症救急搬送件数も、毎年半数以上が高齢者。そのことから「高齢者の熱中症対策」について質問。また自身が毎月参加する海岸清掃と炭除去作業をテーマに、「持続可能な里海づくり」について質問しました。

●高齢者の熱中症対策について

(要旨) 来年の夏に向けて、公共施設を活用したクールスポットやクーリングシェルター設置の拡充ができるか、今後の取組について見解を問う。

(答弁要旨) 関係部署と連携し、市内4ヶ所のふれあいの里に続き、公共施設に限らず民間の協力も得ながら、次年度に向けた更なる拡充に取り組む。



マイボトルに無料給水

●給水スポットの設置について

(要旨) 無料給水機を設置し、こまめに水分補給できる場所を増やすべきでは。マイボトルを使えば、熱中症だけでなく地球温暖化対策にもつながる。

(答弁要旨) 熱中症対策につながる有効な方法だと考える。費用面や衛生面などの課題はあるが、他市の先行事例を参考にしながら検討していく。

●明石の美しい砂浜を守る取組について

(要旨) BBQ後に炭を砂浜に埋めていくケースが多々。正しい知識を得てもらうため、市が情報発信や看板設置、HPや広報での啓発活動を行うべきでは。

(答弁要旨) 管理者である兵庫県と連携し、啓発看板設置や巡回警備による注意指導を実施中。引き続き様々な対策を検討していく必要があると考える。



炭は自然に還らない

黒田 智子

困っている人がいたら何とかしたい。お役に立てることを考え、行動したい。その一心で、5月からいろんな場所を訪問し、いろんな方とお話ししてきました。皆さんのたくさんの知恵も「質問」に反映。「不登校と行きしづり」のテーマをはじめ、皆さんが少しでも楽に、快適に過ごせるよう奔走してまいります。

●重層的支援体制整備事業について

(要旨) 制度の狭間で取り残されている方にも支援が届く「しくみ」づくりに向け、プロジェクト立ち上げや計画の策定、コミセン活用を考えないか。

(答弁要旨) 先進事例を参考に、コミセンも含めた地域資源の活用と拡充、地域総合支援センターの機能強化を社会福祉協議会と連携して取り組んでいく。

●不登校と行きしづりの児童生徒と保護者支援について

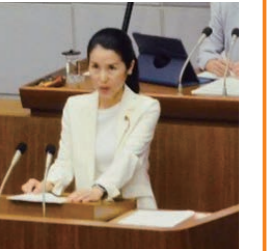
(要旨) 中学生の現状を問う。進路指導時期より早く、不登校でも可能な選択肢を示してはどうか。公設民営フリースクールを市西部にも設置しないか。

(答弁要旨) 昨年度は過去最多564名が不登校。個に寄り添った進路指導を行う。こどもと保護者の声も聞き支援を検討。公設民営の居場所は2か所目の設置を進める。

●水泳授業の民間委託について

(要旨) 6月議会で質問した際、実施している市町の課題等について研究しているとの答弁。その後の進捗と今後の方針は。

(答弁要旨) 加古川市を視察。コストや学習効果などの利点を確認。全面改築を伴う学校は民間委託する方向で調整中。来年度、谷八木小学校で試験実施予定。



フリースペースはこどもの居場所

金尾 良信

学校、保育園、福祉現場を訪問させていただく中で多くの課題に直面。福祉だけでなく、地域の課題も伺い、市民一人ひとりの声を大切にしたいと改めて感じています。来春には、かねてより開設を切望していた明石商業高校福祉科が産声を上げることに。「やさしい明石をこれからも」と心に誓い、本会議に臨みました。

●明石商業高校福祉科開設・生徒募集について

(要旨) 第1回学校説明会(8月24日)の参加状況と生徒の様子について伺う。

(答弁要旨) 体験学習会では、商業科と福祉科合わせて中学生294人、保護者120人が参加。福祉科体験学習には、中学生54人、保護者34人が参加。



明石商業高校 校長先生を訪問

●障害者の就労場所の拡充について

(要旨) 就労支援についての実績、専門的スキルがある関係機関と連携を取り、障壁となる課題を改善しながら障害者就労の拡充を行えないか。

(答弁要旨) 「あく」と通じて企業への就労に向けた支援を継続。障害者対象の採用試験を通じ、障害のある職員が働きやすい職場環境づくりにも取り組む。

●障害者の移動支援要件の緩和について

(要旨) 本人の障害特性を勘案して、通学・福祉事業所通所、趣味活動並びに定期的なショートステイ利用の移動支援等の無期限利用ができないか。

(答弁要旨) 個別の事情に寄り添った柔軟な制度の運用に努めるとともに、国の動向も踏まえながら障害のある人の外出支援について検討する。



就労移行支援事業所に日々訪問

山下 祥

明石市を、もっと魅力ある「海のまち」「スポーツのまち」「こどものまち」「本のまち」へ。特に、バスケットを楽しむ公園が市内に一箇所しかない問題に目を向け、提案した「移動式バスケットコート」は、非常に前向きな答弁に。このほか、誰もが本を借りやすくなるよう「電子図書館サービス」の拡充も求めました。

●大蔵海岸公園でキッチンカー導入の社会実験をしないか

(要旨) 憩いの場としてにぎわうが、利用者の昼食はコンビニやファストフードが主。さらなるにぎわい創出や滞在価値向上を見据えた社会実験を行わないか。

(答弁要旨) H30、R1に試験導入するも、想定利用者数は未達の経緯も。まずは既存BBQ施設と連携。他市を参考にしながら、来訪者の多いイベントでは社会実験も検討。

●移動式バスケットコート設置の社会実験をしないか

(要旨) 公園にバスケット設置を望む市民の声がある。一方で騒音や老朽化問題も。そこで「移動式バスケットコート」を活用した環境整備を行わないか。

(答弁要旨) 検討する価値あり。社会実験は、ニーズ・課題把握にも有効。候補地として、適正な管理を行える石谷公園や魚住みんな公園が考えられる。

●子育ての「6つ目の無料化」として、不妊治療の全額助成を検討しないか

(要旨) 茨城県常陸大宮市など、全額助成を行う先進事例も多数。こどもを授けたい人も取り残さない真の「こどもを核としたまちづくり」を推進しないか。

(答弁要旨) 本市においても重要課題と認識している。2022年4月の保険適用で逆に負担増の事象も把握。先進事例を参考に、助成範囲・回数などを調査研究していきたい。



コートそのものが移動式